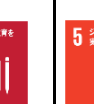


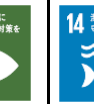
※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(有限会社スワニー)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			経営トップが積極的に関与して、新卒雇用、中途雇用、パート雇用の採用活動において差別をしない体制を構築している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメントを禁止する内容を就業規則などで徹底していると共に、経営層より朝礼において発信している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			勤務体制の整備・対応を行っており長時間労働の防止をしている。また、日々の業務報告において社員全員で労働状況を共有、把握し、助け合う環境を構築している。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			現状では外国人労働者の受け入れ実績はないが、新卒雇用、中途雇用、パート雇用に対し、人権侵害をしないことを徹底する。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5 人 権 ・ 労 働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			日常の会話やヒアリングを徹底して実践している。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			日々の業務報告において社員全員で労働状況を共有、把握し、助け合う環境を構築			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			シルバー人材雇用(内職ワークスペース)や女性設計者の育成など十分に活躍出来る仕事と環境を取り入れている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			OJTが中心となるが、能力開発に積極的に対応。また、失敗を許容する環境により、挑戦できるマインドが育つシステムで能力開発や教育を実践している。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			一気通貫のモノづくり環境で同一労働同一賃金を目指した取り組みを実施している。また、経営層による正しい管理を実施している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			リフレッシュルームに運動器具を設置など、休憩時間に体を動かすことで健康維持に繋がるように配慮している。今後ジム会員費用なども一部会社補助出来る仕組みを検討中。定期的な健康診断実施している。			3					8									
11 環 境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			5Sの徹底と、棄物業者に委託して分別や廃棄量を数値化することで見える化を実施して、廃棄物減少に取り組んでいる。											11.6	12.4		14.1			
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			エネルギー消費量を把握はしているが、ISO9001取得により、今後は見える化をして省エネに繋げる活動を実施していく予定。							7.3					13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			エネルギー消費量を把握はしているが、ISO9001取得により、今後は見える化をして省エネに繋げる活動を実施していく予定。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			有害化学物質を把握してMSDSを管理している。また、適切な使用・廃棄をルール化している。今後取得予定のISO9001においても対応していく。			3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			当社で販売している医療シミュレーション臓器模型など消耗品なども植物由来材料を利用するなど、常に開発段階から意識して製品設計している。。今後取得予定のISO9001においても対応し、その先のISO14001での検討も行う予定。						6.6									15		
16	【3Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			成形材料のリサイクルペレット化、開発製品の汎用部品化や共通化など3Rを意識した製品開発を実践している。使用済み樹脂を粉砕し、再利用する試みも、企画品において実践中。												12.5		14.1			
17	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	本社ファクトリーの水道や工業水は井戸水を利用しており最小限の水利用で生産出来る仕組みを構築している。ISO9001取得後の対応も計画している。						6.4 6.6											
18	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		【予定】	ISO9001取得後のISO14001の対応を計画。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ		【予定】	ISO9001取得後のISO14001の対応を計画。												12.6					
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	コキヤップのリサイクル材料を利用したノベルティや生分解性樹脂の利用や開発支援など再生可能エネルギーの利用を常に意識している。ISO9001取得後のISO14001の対応を計画							7.2						13				
21	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	商品パッケージなどにおいてもFSC認証取得材料（責任ある木質資源を使用した梱包材）を提案し採用など天然資源の持続的利用に配慮している。ISO9001取得後のISO14001の対応を計画												12.2	13	14	15		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則により社員に周知しているとともに、朝礼での共有を実施している。																16 16.5	
23	【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則により社員に周知しているとともに、朝礼での共有を実施している。																16	
24	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本			知的財産について有効なものについてもの維持と新規取得の奨励と実施を行っている。								8.2 8.3	9								
25	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本			情報管理規定による管理を実施している。また朝礼での情報管理ルールを周知徹底を行っている。																16	
26	【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ		【予定】	調達時に調査を行い、自社開発製品の原材料サプライチェーンを把握している。																16	
27	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取り組みを実践している。今後、ISO9001取得時の課題とする。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	既にパートナー企業とのパートナーシップは行われているが、宣言書としての作成・公表が行われていないため、早急にy対応する。			3					8	9	10							17

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			製品・サービスのリスク調査や検討は新製品開発時は常に実施している。評価機関による製品評価を実施している。更にISO9001取得による管理を計画中である。			3.9									12.4					
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本		【予定】	品質を保証する仕組みを構築しているが、さらに向上させる為にISO9001取得による維持管理を計画中である。									9								
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	受託設計においてもお客様と環境配慮を常に意識しながら製品開発を実施している。ISO9001取得後にISO14001取得を検討する。						6						12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			スマート介護製品や子育て課題解決製品の設計生産など製品・サービスの開発・展開を経営課題として実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			キャリア教育や内職ワークスペース、ご当地お土産製品の開発販売など、地域事業展開を通じて対応している。				4					9		11	12		14	15		17
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			自社製品したフェイスシールドの寄付やキャリア教育時などに自社製品のサクラコマやタオレネードの組立体験など通じた商品提供にとり社会貢献活動に取り組んでいる。				4							11			14	15		17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			地域木材を使った自社製品の飛沫防止パーテーションの販売や製造業ご当地お土産プロジェクトで完全地産の製品開発、商品販売など、地域のサプライヤーによる製品化を実施している								8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			本経営理念、ビジョン、ミッションを共有化して社員全員が把握しているとともに、WEBでの発信と社内掲示を行っている。								8	9								17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			重要性を全社員が理解してもらえるように朝礼など活用して発信するなど取り組んでいる。																16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			現在は、CMOを選任しており、企業ブランディングを通じたCSRに繋がる意識付けに取り組んでいる。今後はISO9001推進担当による担当化を実施する。																16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			開発会社の特性上、常にスネークホルダーを意識して利益バランスを考慮した事業運営を実践している。ISO9001によりそのマネジメントも行う予定。																16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ		【予定】	企画・設計・試作・製造・量産・市場投入におけるすべてのステージで次工程でのリスクを洗い出し評価して対応策を準備することを実践している。ISO9001取得計画。																16	
41	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	今後、CSR方針やCSRマネジメントプロセスを標準化して分かりやすく伝えることに取り組んでいく。ISO9001取得計画。																16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	PL保険など含め出来る策を取り入れている。ISO9001取得計画									9		11		13 13.1			16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ		【予定】	後継者候補者を数名準備している。ISO9001取得計画								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、 間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定